

# ひかりのこ

3月園便り

聖ミエル幼稚園  
2019年2月15日

月主題：期待する

## 『学び続けること』

3学期に入り、毎日の教職員の振り返りに、各学年の子どもたちの成長がたくさん報告されるようになってきました。

言葉が増えてきた、お友達を意識するようになってきた、幼稚園の生活を楽しめるようになってきた、自信がついて、みんなの前で自分の考えを言えるようになってきた、など、花が一気に咲くように、3学期は一年の集大成なのだ、と感じさせてくれます。また、おにいちゃんおねえちゃんと一緒に朝やってくる未就園の子どもたちも、みんな大きくなってきています。抱っこされていた赤ちゃんが、いつの間にか、すたすたと歩いたり、私を見つけて、たくさんお家のことをお話してくれたり、子どもってすごいなあ、一か月前と全然違うなあ、と嬉しくなります。こうやって子どもたちは、周囲の全ての人や物を先生として、キラキラした目で学び続け、どんどん大きくなります。

それに比べて、私は…。子どもたちを見ているともっと学ばなければ、とずっと感じていました。そこで次男が大学に合格したことをきっかけに、4年前北海道教育大学の教育臨床心理専攻を受験し、学びはじめました。心理専攻ですので、病院や、ちえりあなどで実習をさせていただき、たくさんの講義を受けてきました。そして今年度卒業ということで、先月やっと修論が出来上がりました。A4で80ページ、原稿用紙に直すと160枚超の論文を教授たちの温かく厳しい指導の下、書き上げ、なんとか合格させていただきました。修論テーマは『絵本を通じた自己の成長に関する研究』です。このテーマを選んだ理由も、聖ミエル幼稚園の子どもたちが絵本を通して大変成長しているように感じたからです。きっと今後の幼稚園運営にも役立つだろう、と思える研究となりました。

このように、子どもたちの姿から自分もたくさん学ばせていただきました。この3月で、大学院は卒業となりますが、これからも心理師の資格を目指して学び続け、子どもたちの役に立ちたいと考えています。

保護者の皆様は、毎日を慌ただしく過ごしていることと思います。でも今は子育てこそが学びです。子どもに一心に目を向けると面白い発見がたくさんあります。子どもを通じた保護者同士の

交流も、人との関わりや、社会の見聞を深める学びです。子育てで悩むことも、あとで考えると素晴らしい学びです。机上の学びというより、実践の学びの時期なのでしょう。そして、子育てが終わってからは、お仕事に就いたり、自分の資格を増やしたり、興味を持てるテーマを追求したりして、保護者の皆様もきっと一生学び続けていくことなのでしょう。

子どもたちのキラキラしたおめめに負けないように、大人もずっと学び続けましょう。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「門 出」

すずらんのお友達が卒園を迎えます。入園のころ、月曜日の礼拝で、たどたどしく聖歌を歌っていたことも、か細い声だったお祈りの言葉が、今ではすっかりたくましく、力強くなりました。一人ひとりの成長を感じています。そして、年少さん、年中さんの良き先輩の風格もあります。神様に守られ、イエス様とともに歩き、心もからだもこんなに大きくなって、聖ミカエル幼稚園の門を出て行くんだなあという、感動を覚えます。

人の一生には何度か門を出て行くこと、いわゆる「門出」があるものです。幼稚園の門は、人生で最初に出て行く門かもしれません。門を出るたびに人は成長し、人間としての深みが増していくものです。そして、さらなる成熟のために新しい門をくぐり、未知の体験を繰り返すのです。

時には、いくらたたいても開かない門があるかもしれません。でも、あきらめないでほしい。イエス様がおっしゃいます。「門をたたきなさい。そうすれば開かれる」。どんなに固く閉まっている門も、たたき続けられれば、願い続ければ何か新しい展開が始まるかもしれません。そして、一緒にたたいてくれる人、応援してくれる人がいることも信じて欲しいと願います。そのような人を、イエス様は必ず支え、守ってくださいます。

幼稚園を旅立つお友達の門出に神様の祝福がありますように。

チャプレン 司祭 下澤 昌